



会社名 J.フロント リテイリング株式会社
 コード番号 3086
 代表者名 代表取締役社長 山本 良一
 お問合せ先 経営戦略統括部
 グループ広報・IR担当
 TEL 03-6895-0178

2013年6月度 J.フロント リテイリング 連結営業報告

1. セグメント別売上高（対前年増減率：％）

	6月度	3～6月度累計
百貨店事業	14.2 (15.7)	7.3 (8.7)
パルコ事業	—	—
卸売事業	11.0	25.3
クレジット事業	6.8	4.6
その他事業	19.5	▲ 2.9
連結合計	30.0	24.7

(注)2012年9月度からパルコ事業を新たに追加表示し、2013年3月度からスーパーマーケット事業を除外しました。
 なお連結合計からパルコ事業及びスーパーマーケット事業を除いた6月度の対前年増減率は14.4%増(パルコ事業の対前年増減率は7.1%増)、
 連結合計からパルコ事業及びスーパーマーケット事業を除いた3～6月度累計の対前年増減率は7.7%増(パルコ事業の対前年増減率は2.2%増)。
 百貨店事業合計の()内は大丸ららぽーと横浜店、大丸新長田店(いずれも2013年1月31日営業終了)を除く既存店ベース。

2. 売上高概況

1) 百貨店事業

- ・6月度の百貨店事業の売上高は、ワンピース、サンダルなど盛夏ファッションや、美術宝飾品などが好調に推移したほか、6月28日に好調にスタートしたクリアランスセール（前年は7月1日スタート）や銀座店の売りつくしセール（銀座地区再開発計画・建替えのため6月30日閉店）による嵩上げ効果も加わり、大丸松坂屋百貨店合計では対前年16.6%増、関係百貨店を含めた百貨店事業合計では同15.7%増となった。

2) パルコ事業

- ・気温が初旬から高めに推移したことにより、衣料品、身回品などの夏物ファッションアイテムのほか、水着、スポーツ、家電、カフェなど気温との連動性が高いアイテムも大幅に伸長し、全体の売上を牽引した。加えて、名古屋パルコ、宇都宮パルコにおいて「グランバザール」をスタート（名古屋パルコは28日、宇都宮パルコは29日スタート。前年はパルコ全店で7月5日スタート）したことも寄与し、パルコ事業全体では対前年7.1%増となった。

3) その他

- ・卸売事業の大丸興業は、ソフトビジネス部門で調理用品、包装資材が売上を伸ばしたほか、食品部門では農水産品が好調で対前年11.0%増となった。
- ・クレジット事業のJFRカードは、加盟店手数料収入の増加やリボ払いを利用されるお客様の増加などが寄与し対前年6.8%増となった。
- ・その他事業は、松坂屋名古屋店や大丸神戸店の改装工事などにより大幅増となったJ.フロント建装が牽引した。

お問合せ先	J.フロント リテイリング株式会社	グループ広報・IR担当
	TEL	03-6895-0178
	FAX	03-6674-7565

2013年6月度 百貨店事業 営業報告

1. 売上高および入店客数（対前年増減率：％）

	6月度		3～6月度累計	
	売上高	入店客数	売上高	入店客数
大丸 心齋橋店	1.6	1.7	0.8	▲0.2
大丸 梅田店	4.6	0.2	▲2.7	▲3.2
大丸 東京店	43.2	36.5	36.7	35.0
大丸 浦和パルコ店	4.1	4.7	3.9	5.8
大丸 京都店	7.6	7.5	1.9	3.9
大丸 山科店	▲2.4	▲0.6	0.6	2.1
大丸 神戸店	6.3	▲2.9	4.1	▲4.3
大丸 須磨店	10.7	2.8	6.6	1.5
大丸 芦屋店	2.7	0.9	0.6	▲0.2
大丸 札幌店	11.4	5.6	6.8	4.6
松坂屋 名古屋店	14.5	11.9	13.6	9.3
松坂屋 上野店	0.6	▲0.8	▲1.4	▲2.5
松坂屋 静岡店	5.9	5.9	3.7	3.4
松坂屋 銀座店	419.7	41.1	178.3	▲0.6
松坂屋 高槻店	2.2	5.9	0.3	3.2
松坂屋 豊田店	4.4	4.1	4.8	3.9
大丸松坂屋百貨店合計	16.6	8.7	9.6	5.2
博多大丸	11.5	1.1	2.9	▲2.5
下関大丸	3.2	1.2	▲0.2	1.1
高知大丸	4.0	▲2.0	1.2	▲4.3
百貨店事業合計	15.7	7.9	8.7	4.5

(注)大丸ららぽーと横浜店、大丸新長田店(いずれも2013年1月31日営業終了)を除く既存店ベース。

前年に上記2店舗を含めた6月度の対前年増減率は、大丸松坂屋百貨店合計 15.0%増、百貨店事業合計 14.2%増。

前年に上記2店舗を含めた3～6月度累計の対前年増減率は、大丸松坂屋百貨店合計 8.0%増、百貨店事業合計 7.3%増。

2. 大丸松坂屋百貨店 商品別売上高（対前年増減率：％）

	6月度	3～6月度累計
紳士服・洋品	15.4	8.5
婦人服・洋品	20.0	10.2
子供服・洋品	31.8	7.1
その他の衣料品	44.7	16.4
衣料品計	20.7	9.9
身回品	34.3	15.4
化粧品	5.4	0.7
美術・宝飾・貴金属	44.1	46.9
その他雑貨	30.8	21.9
雑貨計	26.0	23.5
家具	41.5	22.9
家電	▲12.0	6.5
その他の家庭用品	9.2	3.0
家庭用品計	15.6	7.7
生鮮	▲1.4	▲1.9
菓子	5.1	4.4
惣菜	15.4	10.8
その他食料品	4.4	3.9
食料品計	5.9	4.7
食堂・喫茶	5.7	3.7
サービス	8.4	4.3
その他	▲14.1	▲9.4
合計	16.6	9.6

(注)大丸ららぽーと横浜店、大丸新長田店(いずれも2013年1月31日営業終了)を除く既存店ベース。

3. 売上高概況

婦人服・洋品は、ラグジュアリーブランドが好調を持続したことに、クリアランスセールによる嵩上げ効果も加わり、売上を伸ばした。紳士服・洋品は、シャツ、スラックス・パンツなどがよく動いた。身回品は、パラルソル、サングラスなど盛夏アイテムの好調に加え、「売りつくしセール」が盛況であった銀座店が売上を押し上げた。雑貨は、時計、宝飾品などの高額品が活発に動いたほか、銀座店の「絵画売りつくし」も寄与した。食料品は、改装グランドオープンした名古屋店や、昨年秋に増床した東京店などが牽引した。